

みつ いし ふみ たか

三石文隆

令和4年
12月号

高知県議会 三石文隆議員特集号

県政報告

〒780-8570 高知市丸ノ内 1-2-20 県議会自由民主党控室 TEL 088-823-9522



新型コロナウイルス感染症対策のため、演台にアクリル板を設置しております。そのため、一部の写真に反射光が見られますがご了承ください。



濱田知事

■三石議員 県の発展を支え二層輝く県庁組織となるため、大切に人材育成の要諦と、実践している具体的な育成方法を聞く。

■濱田知事 県民の皆さんのために仕事をするために、その潜在能力を引き出し、最大限に発揮をさせるということが、人材育成の要諦と考えております。

幹部職員を初めとする職員に、まず、県政の進むべき大きな方針を示し、施策の大目標を共有した上で、施策の実現方法は職員に委ねていっております。細かな指示を個々に出すというよりは、対話を通じて、職員みずからが施策を練り上げていく手助けをする役割が望ましいと思っております。

そうしたプロセスを通じ、施策の実施過程や成果、手応え、達成感を分かち合い、時には悔しさも分かち合うことで、人材育成の二助ともなっているのではないかと考えております。

知事の政治姿勢について

令和4年9月定例会より

三石議員の活動記録



令和4年9月7日から9日まで、山口県、島根県において、山口県庁、明倫小学校、萩高等学校、一般社団法人萩ものがたり、一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム、隠岐島前高等学校・一般財団法人島前ふると魅力化財団、海士町役場の先進的な取り組みについて調査を行いました。



地域・教育魅力化 PF



隠岐島前高等学校



山口県庁

「女性職員の活躍推進の取組」について説明を受け、意見交換を行いました。



海士町役場にて

「隠岐島前高等学校魅力化プロジェクトにおける役場の取組」について説明を受け、意見交換を行いました。



海士町役場にて



明倫小学校

「郷土の歴史を活かした小学校教育の実践」について説明を受け、意見交換を行いました。



萩高等学校

「二学期制・学校設定科目の設置」について説明を受け、意見交換を行いました。



萩ものがたり

「郷土教育の取組」について説明を受け、意見交換を行いました。

デジタル小委員会 7/26~7/27



明倫小学校



栃木県議会



茨城県議会にて

三石文隆議員のプロフィール



- 昭和29年生まれ。
- 国士館大学法学部を卒業、教師(中学校)になる。
- 平成5年、16年間にわたる教師の職を辞し、政治の道を目指す。
- 平成11年4月、高知県議会議員に初当選、現在6期目。
- この間高知県議会常任委員会のすべての委員長、決算特別委員長、議会運営委員長、高知県監査委員等の要職を歴任。
- 平成23年5月、第95代高知県議会副議長。
- 平成27年5月、第94代高知県議会議長。
- 令和元年5月、自由民主党高知県議会議員団会長。
- 令和2年3月、第99代高知県議会議長に就任。
- 令和3年3月、自由民主党高知県議会議員団会長。
- 令和3年10月、決算特別委員会 委員長に就任。
- 令和4年4月、高知県議会副議長、高知県議会議長(2回)、自由民主党高知県議会議員団会長の要職を務め、現在に至る。



本会議、常任委員会、特別委員会は特別の場合を除き、どなたでも傍聴できます。

三石文隆県政事務所

〒780-0966 高知市福井扇町13番27号
TEL 088-872-0066 FAX 088-872-1113

高知県議会 検索 高知県議会ホームページ <http://gikai.pref.kochi.lg.jp>

この広報誌に関するご意見・ご要望をお聞かせください TEL 088-823-9522
〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20 県議会自由民主党控室





第4期産業振興計画について

■三石議員 農業大学校や農業担い手育成センターのキャリアムなどの情報を積極的に発信し、新規就農者の確保に務めることについて、現在の取り組みと展望を聞く。

■農業振興部長 農業者の減少や高齢化が深刻化している中、本県農業を担う新規就農者を確保し、育てていくことは喫緊の課題であり、農業大学校と農業担い手育成センターの果たす役割は極めて重要であります。
現在、最先端の農業技術で時代に即した人材育成や、

新教育長への期待について

にもつなげていきたいと考えております。

■三石議員 本県教育行政事務の最高責任者として、どのような抱負を持ち、何を大切に、どのような方策で切り盛りしているのか聞く。

■教育長 教育行政においては「不易と流行」を的確にとらえることが重要であると考えています。

例えば正義感や公正さ、規範意識、人を思いやる心などの道徳心を育み、我が国や郷土の文化、伝統、歴史などについて、正しく理解するといったような不易を前提とした上で、Society5.0やグローバル社会と言われる社会情勢の変化に応じて「生きる力」を育む「流行」をしっかりと自らのものとすることが必要になっ

第2期教育大綱について

てくると考えています。
今後も本県の子供たちのために、私が先頭に立って全力を尽くして参る所存でございます。

■三石議員 8月の高知県・高知市、知事・市長及び教育長連携会議において確認された県と高知市が共に教育課題解決に向けて取り組むことについて聞く。

■濱田知事 本年度の全国学力学習状況調査におきまして、厳しい結果となりました中学校の、特に数学について危機感を県市で共有し、その対策についての意見交換を行い、さらに本県の喫緊の課題であります不登校の問題への対応につきましても協議を行いました。

また、県市双方の教育委員会と児童福祉の部署合わせて4者で、これまで以上に連携を深めていくということを確認いたしました。
今後、本県の教育課題の解決に向けまして、より一層連携の強化を図って参りたいと考えております。

県民のマナーやモラルの向上について

■三石議員 信号機のない横断歩道での一時停止など、県民の交通マナーを高める取り組みについて聞く。

■警察本部長 議員ご指摘の通り、高知県の横断歩道での一時停止率が全国的に見ても低い方に入ることを含め、県民の交通マナーは向上の余地が大きいと認識しております。
対策として、広報啓発、交通安全教育の充実に加え、交差点関連違反の取り締まりを強化していきたいと考えており、

特に幼少期からの啓発も重要です。県民運動を推進中です。
交通マナーの身についた子供たちが将来、運転者となった際には、歩行者優先意識を持つことで、人にやさしい交通社会の実現を目指していきたいと考えています。

■三石議員 県庁職員が職員同士や来庁者に対する思いやりの行動を積極的に取り入れ、県民全体のマナーアップにつなげることに、所見を聞く。

■副知事 相手を敬う気持ちを持って積極的に会釈をすることや「おはようございます」、「おつかれさま」など言葉に出して挨拶をすることは、人間関係を良好にし、お互いを和やかな気持ちにさせる大切な行動だと思っております。
また、挨拶などのマナーが浸透することで、より風通しのよい働きやすい職場にも繋がるものと思っております。

県庁職員が率先して行動に移すことによりまして、県民の皆さんの思いやりや助け合いの心、そして相互扶助の心の醸成

■三石議員 深刻な不登校課題の解決に向け一括して取り組みのための組織について、所見を聞く。

■教育長 昨年度までの連携会議を発展的に解消し、新たに教育次長をトップとする不登校対策プロジェクトチームを設置し、これまでの取り組みの評価検証を行っています。
今後、プロジェクトチームにおいて各取り組みの評価や進捗管理を徹底し、県教育委員会が一丸となって喫緊の教育課題である不登校の改善にスピード感を持って取り組んで参ります。

もたちが日頃から国旗に親しみ、国旗を主体的に尊重する態度が育つような環境づくりに努めることについて、所見を聞く。

■濱田知事 本県の子供たちが、日本人としてのアイデンティティーや誇りを持ち、同時に、国旗、国歌を尊重する態度を身につけ、これからのグローバル社会で活躍をできる、人材に育ってくれることを願っております。

国旗、国歌について

■三石議員 市町村立の小中学校において、屋外の掲揚台などに国旗を常時掲揚し、子ども

学校の設置者であります各市町村において主体的な議論が行われるというのを期待しております。

